

岡山大学に新たな交流と共創の場

共育共創コモンズ

完成 愛称は OUX (オークス)

令和5年1月、岡山の新たなシンボルとなる「共育共創コモンズ」愛称 OUX (オークス) が完成しました。カーボンニュートラル・脱炭素社会に貢献する木質系材料CLTを活用。設計・施工監理を世界的な建築家であり、本学特別招聘教授の隈研吾先生が監修しました。



カーボンニュートラル・脱炭素に貢献する木造建築

完成披露式典では、隈研吾特別招聘教授(以下、隈先生)による特別講演が開催された。完成にあたり、隈先生は『共育共創コモンズ』で日本の木造建築技術の最先端、すなわち世界の最先端技術をカタチにすることができました。20世紀は鉄とコンクリートの時代でしたが、これからは木の可能性を追求する時代。そんな私の想いに岡山大学が共鳴してくれた結果、今日の完成に至りました」と想いを語る。

今回「共育共創コモンズ」に活用されたCLT (Cross Laminated Timber) はひき板を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料。カーボンニュートラル・脱炭素社会に貢献する、環境に優しい材料として、国内森林資源の蓄積やSDGsの観点からCLTを積極的に活用する機運が高まっている。

原寸大の教材「OUX」で最先端の木造建築技術を学んでほしい

今回使われたCLTは、全て国産の木材により作られた。木材産業先進国のヨーロッパでCLTを使った中高層の木造建築を目的に作られてきた隈先生は、日本国内におけるCLT建築の可能性を長く模索してきた。木と岡山県つながりについて



隈研吾 KUMIA Kenyo

岡山大学特別招聘教授

PROFILE

1954年生まれ。東京大学大学院を修了し、1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。自然素材を生かした建築が特徴で、日本建築学会賞、フィンランドの国際木の建築賞などを受賞。東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムとなった新国立競技場の設計にも携わった。2020年より岡山大学特別招聘教授。

隈先生は、「岡山県はCLTの生産が日本一。言うなれば、岡山県こそ日本の木造建築を牽引するリーダーにふさわしい。この大講義室は18m×21・6mの大空間ですが、柱が無い。これはコンクリートでは実現不可能で、鉄骨でも難しいです。でも、軽くて丈夫なCLTならできる。これは画期的なことなんです」と熱く語る。

「木造建築に関する最先端の教育ができる場。その象徴ができた」と話す隈先生。最後に聴衆の学生たちに向けて「建築は楽しいけれど、使う人に対する責任がある。そしてこれからは皆さんの時代をリードしていく。どうかその主人公になってほしい」とエールを送り、特別講演を締め括った。



完成披露式典では、2階の大講義室で隈研吾特別招聘教授による特別講演が開催。岡山の新たなシンボルとなる木造建築「OUX」の設計趣旨、新材CLT (Cross Laminated Timber) の可能性など、世界各地に建てられた『隈作品』を紹介しながら建築や教育への熱い想いを語られました。

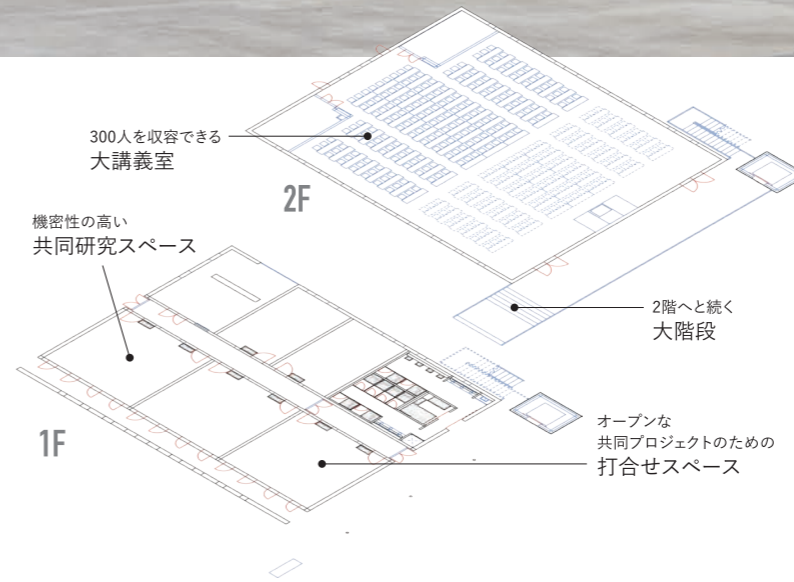


1階は「共創ラボ」。オープンな共同プロジェクトから機密性を高く保てる共同研究まで、フレキシブルに対応できます。さらには海外からの招聘教授、滞在研究員が学生らとともに研究できるスペースとしても活用します。

[右] 本学の卒業生でもあるナカシマホールディングス株式会社の中島博会長から多大なる寄付をいただきました。同社が世界トップシェアを誇る船舶用スクリュープロペラが寄贈され、大講義室の壁に設置されています。

[右下] ガラスの衝突防止には特徴的なOUXの窓割をかたどった木材を使用。

[下] 天然素材の竹を用いたルームプレート。



「OUX (オークス)」に込めた3つの想い

愛称提案者: 学務部学務情報システム開発室

田邊 光伸さん

- ① 岡山大学の「OU」と、共育・共創の交流を表す「X」。
- ② Optimal (最良・最適な) UX (ユーザーエクスペリエンス) を提供する場。
- ③ 「オーク(樫・檜)」や「大楠」を連想させ、岡山のシンボルツリーたる大樹のイメージ。3つの想いを愛称に込めました。



I named!